

ランドスケープの新潮流セミナー
**地域経営と
ランドスケープ**

地域が支える農業

皆さんは「地域支援型農業(Community Supported Agriculture)」という農業をご存知でしょうか。これは消費者が生産者に代金を前払いして、定期的に作物を受け取る契約を結ぶ農業のことを言います。これにより、生産者は安定的に収入を得ることができ、また消費者は生産者の顔が見えて安全安心を得るとともに新鮮なコメ等を売ることが出来ます。さらに消費者の農作業への参加も見られ交流も盛んです。そんな新しい農業に取り組んでいる方々から、地域支援型農業の展開方法やそのメリットなどについてお話していただきます。

3/2
(火)

16:00 ~ 18:00

ZOOM を用いた
遠隔講座

参加費無料

要申込
定員 50 名

◆ 事例報告 1

台湾宜蘭における地域支援型農業について

頼 青松 慢島生活有限公司 代表

◆ 事例報告 2

BIO CREATORS の取り組みについて

大皿 一寿 ナチュラリズムファーム 代表

◆ パネルディスカッション

コーディネーター : 中瀬 勲

淡路景観園芸学校学長/兵庫県立人と自然の博物館館長

総合司会・解説 : 嶽山 洋志 兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科/淡路景観園芸学校 准教授

頼 青松

堪能な日本語とともに産直販売の専門家でもある。生活の概念、環境の保全を重んじる生活態度を伝えている。



大皿 一寿

神戸市西区の有機農家 5 名と一緒に、日本ではまだ珍しい CSA という取り組みを通して、有機農家を支え、増やす仕組みづくりに挑戦している。



お申込・お問合せ先

seminar@awaji.ac.jp 氏名、メールアドレス、所属を左記までお知らせください。

お申込みを頂いた方に当セミナーの URL をお送りします。(ZOOM のインストールが必要です)

<https://www.awaji.ac.jp/seminar>

